

令和5年度定時総会議案書

令和5年5月17日(水)

一般社団法人栃木県産業環境管理協会

〒320-0043 宇都宮市桜4丁目2番2号

電 話 0 2 8 - 6 2 5 - 3 0 2 6

F A X 0 2 8 - 6 2 5 - 1 8 1 6

E-mail: t-sankan@juno.ocn.ne.jp

一般社団法人 栃木県産業環境管理協会

令和 5 年度 定時 総会 次第

日 時 令和 5 年 5 月 17 日(水) 15 時 45 分から
場 所 宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ

1 開 会

2 会 長 挨 拶

3 来 賓 祝 辞

4 議事録署名人選出

5 議 事

(1) 審議事項

第 1 号議案 令和 4 年度決算について

第 2 号議案 令和 5 年度事業計画(案)について

第 3 号議案 令和 5 年度収支予算(案)について

第 4 号議案 役員を選任について

第 5 号議案 顧問の推挙について

(2) 報告事項

報告事項 1 令和 4 年度事業報告について

6 閉 会

令和5年度定時総会特別講演会

日 時 令和5年5月17日(水) 14時00分～15時30分

場 所 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

演 題 「上司のコミユカで人材を育てる」
～あなたの組織のハラスメントは大丈夫ですか?～

講 師 産業カウンセラー・キャリアコンサルタント
棚橋 珠美 様

第1号議案

令和4年度決算について

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,939,793	3,038,329	△ 98,536
流動資産合計	2,939,793	3,038,329	△ 98,536
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
財政調整引当資産	8,846,568	8,796,568	50,000
特定資産合計	8,846,568	8,796,568	50,000
(2) その他の固定資産			
什器備品	1	1	0
その他の固定資産合計	1	1	0
固定資産合計	8,846,569	8,796,569	50,000
資産合計	11,786,362	11,834,898	△ 48,536
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	144,605	△ 144,605
預り金	72,460	57,513	14,947
流動負債合計	72,460	202,118	△ 129,658
負債合計	72,460	202,118	△ 129,658
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	11,713,902	11,632,780	81,122
(うち特定資産への充当額)	(8,846,568)	(8,796,568)	(50,000)
正味財産合計	11,713,902	11,632,780	81,122
負債及び正味財産合計	11,786,362	11,834,898	△ 48,536

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益				
特定資産受取利息	149	144	5	
② 受取入金				
受取入金	0	0	0	
③ 受取会費				
正会員受取会費	6,467,500	6,590,000	△ 122,500	
賛助会員受取会費	250,000	300,000	△ 50,000	
④ 事業収益				
講習会事業収益	979,960	751,240	228,720	
⑤ 雑収益				
受取利息	47	40	7	
雑収益	42,870	61,050	△ 18,180	
経常収益計	7,740,526	7,702,474	38,052	
(2) 経常費用				
① 事業費				
(1) 研修講習会事業費	3,283,807	3,082,770	201,037	
給料手当	2,336,298	2,226,190	110,108	
福利厚生費	402,970	388,659	14,311	
旅費交通費	0	476	△ 476	
通信運搬費	136,616	138,270	△ 1,654	
消耗品費	48,985	74,536	△ 25,551	
印刷製本費	105,758	80,092	25,666	
光熱水料費	57,084	42,847	14,237	
賃借料	186,096	131,700	54,396	
諸謝金	10,000	0	10,000	
(2) 公害防止管理者受験講習会事業費	741,684	704,264	37,420	
給料手当	176,330	144,605	31,725	
福利厚生費	26,623	12,668	13,955	
旅費交通費	689	1,001	△ 312	
通信運搬費	55,046	57,147	△ 2,101	
消耗品費	69,853	70,662	△ 809	
印刷製本費	13,568	18,583	△ 5,015	
光熱水料費	3,935	3,958	△ 23	
賃借料	95,200	95,200	0	
諸謝金	300,440	300,440	0	

科 目	当年度	前年度	増減	備考
(3)情報提供・相談事業費	1,649,362	1,626,127	23,235	
給料手当	1,225,985	1,178,933	47,052	
福利厚生費	197,590	216,758	△ 19,168	
旅費交通費	882	6,041	△ 5,159	
通信運搬費	88,856	74,265	14,591	
消耗品費	24,790	28,159	△ 3,369	
印刷製本費	0	5,014	△ 5,014	
光熱水料費	23,127	23,257	△ 130	
賃借料	88,132	93,700	△ 5,568	
②管理費	1,984,551	1,719,833	264,718	
給料手当	1,167,054	987,566	179,488	
福利厚生費	170,955	160,813	10,142	
会議費	165,348	133,000	32,348	
旅費交通費	393	1,960	△ 1,567	
通信運搬費	64,364	55,211	9,153	
消耗品費	47,392	27,080	20,312	
印刷製本費	64,460	71,720	△ 7,260	
光熱水料費	58,973	26,441	32,532	
支払手数料	8,030	19,470	△ 11,440	
賃借料	62,700	62,700	0	
租税公課	92,900	92,000	900	
支払負担金	81,982	81,872	110	
経常費用計	7,659,404	7,132,994	526,410	
当期経常増減額	81,122	569,480	△ 488,358	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給与引当金戻入益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	81,122	569,480	△ 488,358	
一般正味財産期首残高	11,632,780	11,063,300	569,480	
一般正味財産期末残高	11,713,902	11,632,780	81,122	
Ⅱ 正味財産期末残高	11,713,902	11,632,780	81,122	

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	普通預金 足利銀行宇都宮支店	運転資金として	2,939,793
流動資産合計				2,939,793
(固定資産)	財政調整引当資産	定期預金 足利銀行宇都宮支店	法人を維持するために資金として管理されている預金。	8,846,568
その他の固定資産	什器備品	パソコン1台	研修講習会事業用	1
固定資産合計				8,846,569
資産合計				11,786,362
(流動負債)	預り金	職員からの預り金	社会保険料、源泉所得税	72,460
流動負債合計				72,460
負債合計				72,460
正味財産				11,713,902

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は法人税法の規定による定額法によっています。

(2) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
財政調整引当資産	8,796,568	50,000	0	8,846,568
合 計	8,796,568	50,000	0	8,846,568

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
財政調整引当資産	8,846,568	0	(8,846,568)	0
合 計	8,846,568	0	(8,846,568)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
固定資産			
パソコン	131,222	131,221	1
合 計	131,222	131,221	1

監 査 報 告 書

一般社団法人栃木県産業環境管理協会
会 長 指 出 拓 也 様

令和5年4月6日

一般社団法人栃木県産業環境管理協会

監 事 加 藤 高 伸 印

監 事 今 井 清 人 印

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第2号議案

令和5年度事業計画（案）について

我が国の社会・経済環境は、人口減少・少子高齢化の進行、自然災害の頻発・激甚化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、時代の大きな変化の中にある。また、2050年までのカーボンニュートラルや持続可能な循環型社会を実現していくためには、官民一体となったそれぞれの地域における環境保全活動を通して、世界全体に貢献していくことが求められています。

このような中であって、私たちの事業活動の持続的発展を実現するためには、公害の未然防止や環境保全活動により地域環境に配慮していくとともに、SDGs等グローバルな視点を踏まえた地域貢献に取り組むなど、経済活動と並行して環境及び地域との共生を図ることがより重要となっている。

そこで、令和5年度においては、環境保全関係法令の順守をはじめ、公害防止施設の適正な維持管理など、環境保全に関する取り組みを強化するため、関係行政機関、関係団体等との密接な連携強化を図りながら、各種の事業を展開する。

更に、会員の優れた環境保全に関する知識、技能を共有するとともに、広く普及することにより本県の企業力の向上に資する。

【事業費関係】

I 講習会事業

1 研修講習会事業

(1) 環境保全講習会

地球温暖化、公害防止、廃棄物対策等に係る法令、処理技術をはじめ、環境保全に関する講習会を開催する。

- | | |
|---------------------------|---------|
| ① 特別講演会 | 令和5年5月 |
| ② 第1回環境保全講習会（栃木県、宇都宮市と共催） | 令和5年6月 |
| ③ 第2回環境保全講習会 | 令和5年10月 |
| ④ 第3回環境保全講習会 | 令和6年2月 |

(2) 工場見学研修会

地球温暖化、公害防止、環境保全、廃棄物対策等に係る先進的な事例を実地に見学し、会員の資質の向上と相互交流を図る。

- | | |
|---------------------|---------|
| ① 第1回工場見学研修会 | 令和5年9月 |
| ② 第2回工場見学研修会 | 令和6年2月 |
| (3) EMS内部環境監査員養成講習会 | 令和5年9月 |
| (4) 行政との情報交換会 | 令和5年12月 |

- (5) 廃棄物関係法令講習会 令和5年11月、令和6年1月
(栃木県等主催事業へ後援予定)

2 行政機関・関係団体との連携

行政機関、環境関係団体との連携及びその関係事業への参画を図る。

(1) 栃木県公衆衛生協会

会員として次の事業に参画する。

- ア 第63回栃木県公衆衛生大会 令和5年9月
イ 第61回栃木県公衆衛生学会 令和5年9月
ウ 地区公衆衛生大会 令和5年10月、11月

(2) 環境関係団体との連携

(公財) 栃木県環境保全公社をはじめ、(公社) 栃木県産業資源循環協会、(一財) 栃木県環境技術協会、栃木県地球温暖化防止活動推進センター等との連携強化を図る。

(3) とちの環県民会議

法人会員として参画し、関係事業に参加する。

(4) (一社) 産業環境管理協会

公害防止管理者等国家試験に関する情報の入手等

3 公害防止管理者等国家試験受験講習会 (水質関係) 令和5年7月

公害防止管理者等国家試験(水質関係)の受験者を支援するため、講習会を開催する。

II 機関誌発行等事業

機関誌「クリーンライフ」発行

地球温暖化、公害防止、廃棄物対策等、環境保全全般に係る行政情報、協会活動情報や、環境法令の改正情報、処理技術情報等を掲載した機関誌「クリーンライフ」を、次のとおり年3回発行する。なお、配付先は、会員、県及び市町村環境担当部局、関係団体とし、発行方法は、ホームページ及びCD配付とする。

118号(ホームページ掲載・CD-ROM 90部)発行: 令和5年6月

119号(ホームページ掲載・CD-ROM 90部)発行: 令和5年10月

120号(ホームページ掲載・CD-ROM 90部)発行: 令和6年2月

III 環境情報提供事業

環境関連情報の円滑な普及を行う。

県庁環境森林部各課等から広報依頼のあった行政関係ニュースを協会会員

あてメール送信、郵送等により速やかに普及を図る。

- (1) 県及び宇都宮市が主催する各講習会等の開催案内
- (2) 公害防止管理者等国家試験及び認定講習会の案内
- (3) 県及び宇都宮市が実施する環境関係事業及び催事等の案内
- (4) とちの環県民会議他関係団体の事業及び催事の案内

IV 環境保全・公害防止相談事業

会員からの地球温暖化対策、公害防止、環境保全及び廃棄物対策関係の質問に随時対応する。

V 動画配信事業

環境保全講習会等の記録を配信する。

【管理費関係】

I 会議

1 令和5年度定時総会

定款に基づき本会の運営に係る重要事項を審議する。

日 時：令和5年5月17日（水）

場 所：宇都宮市 ホテルニューイタヤ

2 理事会

定款に基づき、総会議決事項等必要な事項について審議する。

なお、必要に応じ、書面による理事会で対応する。

開催予定：令和5年4月（書面）及び令和5年5月（臨時）、令和6年3月

3 企画委員会

環境保全講習会、工場見学研修会、機関誌発行など本会事業が円滑に実施されるよう必要な活動を随時行う。

活動の予定：年2回の会議に加え、必要に応じ随時開催する。また、研修会開催時の事務局支援等を行う。

II 法令に基づく事務

一般社団法人として各法令を遵守しこれらに基づく事務を適正に行う。

1 監査

監事による令和4年度決算に係る会計監査

2 法務局登記

令和5年度定時総会において議決された理事の選任に関する登記を行う。

Ⅲ 会員の拡大

環境保全講習会等において、パンフレットの配布や開催挨拶において加入案内する他、来所者、講演会において、個別に勧誘を行う。

引き続き有効な会員拡大方法について検討実施する。

令和5年度主要事業予定

月	主 要 事 業
4	令和4年度会計監査、第116回理事会（書面）
5	令和5年度定時総会、特別講演、第117回理事会
6	第1回環境保全講習会、クリーンライフ118号発行、 第1回企画委員会
7	公害防止管理者等国家試験受験者講習会（水質関係）
8	
9	第1回工場見学会、栃木県公衆衛生大会、同学会 EMS 内部環境監査員養成講習会
10	第2回環境保全講習会、クリーンライフ119号発行、
11	廃棄物関係法令講習会（県等事業の後援）
12	行政との情報交換
1	廃棄物関係法令講習会（県等事業の後援）、
2	第3回環境保全講習会、第2回工場見学会、クリーンライフ120号発行、 第2回企画委員会
3	第118回理事会

第3号議案

令和5年度収支予算(案)について 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取入金	10,000	10,000	0	
受取入金	10,000	10,000	0	
② 受取会費	6,750,000	6,900,000	△ 150,000	
正会員受取会費	6,500,000	6,600,000	△ 100,000	
賛助会員受取会費	250,000	300,000	△ 50,000	
③ 事業収益	990,000	920,000	70,000	
講習会事業収益	990,000	920,000	70,000	
④ 雑収益	65,100	65,100	0	
受取利息	100	100	0	
雑収益	65,000	65,000	0	
経常収益計	7,815,100	7,895,100	△ 80,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
(1) 研修講習会事業費	4,450,000	4,260,000	190,000	
給料手当	2,540,000	2,360,000	180,000	
福利厚生費	440,000	430,000	10,000	
旅費交通費	30,000	30,000	0	
通信運搬費	230,000	230,000	0	
消耗品費	250,000	250,000	0	
印刷製本費	270,000	270,000	0	
光熱水料費	100,000	100,000	0	
賃借料	290,000	290,000	0	
諸謝金	300,000	300,000	0	
(2) 公害防止管理者受験講習会事業費	970,000	930,000	40,000	
給料手当	220,000	190,000	30,000	
福利厚生費	60,000	50,000	10,000	
旅費交通費	10,000	10,000	0	
通信運搬費	80,000	80,000	0	
消耗品費	90,000	90,000	0	
印刷製本費	30,000	30,000	0	
光熱水料費	20,000	20,000	0	
賃借料	130,000	130,000	0	
諸謝金	330,000	330,000	0	

科 目	当年度	前年度	増減	備考
(3)情報提供・相談事業費	2,240,000	2,200,000	40,000	
給料手当	1,290,000	1,260,000	30,000	
福利厚生費	260,000	250,000	10,000	
旅費交通費	20,000	20,000	0	
通信運搬費	150,000	150,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	
印刷製本費	50,000	50,000	0	
光熱水料費	50,000	50,000	0	
賃借料	280,000	280,000	0	
諸謝金	40,000	40,000	0	
②管理費	2,590,000	2,460,000	130,000	
給料手当	1,310,000	1,190,000	120,000	
福利厚生費	230,000	220,000	10,000	
会議費	220,000	220,000	0	
旅費交通費	20,000	20,000	0	
通信運搬費	100,000	100,000	0	
消耗品費	90,000	90,000	0	
印刷製本費	120,000	120,000	0	
光熱水料費	80,000	80,000	0	
支払手数料	40,000	40,000	0	
賃借料	90,000	90,000	0	
租税公課	150,000	150,000	0	
支払負担金	120,000	120,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	
經常費用計	10,250,000	9,850,000	400,000	
当期經常増減額	△ 2,434,900	△ 1,954,900	△ 480,000	
当期一般正味財産増減額	△ 2,434,900	△ 1,954,900	△ 480,000	
一般正味財産期首残高	2,434,900	1,954,900	480,000	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 正味財産期末残高	0	0	0	

第4号議案

役員を選任について

異動及び退職等の事由により、次の通り役員を辞任する旨申し出があったため、その後任者の選任を行う。

なお、新役員任期は、前任者の任期が満了する令和6年の定時総会までである。

(1) 選任(案)

役職	氏名	所属
理事	藤田 貴行	日産自動車(株) 栃木工場
〃	大竹 久弥	(一社)栃木県産業環境管理協会

(2) 辞任

役職	氏名	所属
理事	裏本 聡	日産自動車(株) 栃木工場
〃	久保 昌幸	(一社)栃木県産業環境管理協会

第5号議案

顧問の推挙について

定款第35条に基づき、令和5年度定時総会において、次の職にある者を顧問に推挙する。

所属機関・団体等	職名	氏名
栃木県環境森林部	次長兼 環境森林政策課長	齋藤利也
〃	参事	野中寿一
〃	気候変動対策課長	武藤慶人
〃	環境保全課長	福士宏樹
〃	資源循環推進課長	大橋禎恵
(一財) 栃木県環境技術協会	理事長	齋藤高藏
(一社) 栃木県商工会議所連合会	会長	藤井昌一
栃木県中小企業団体中央会	会長	齋藤高藏
栃木県商工会連合会	会長	福田徳一
(一社) 栃木県経営者協会	会長	青木勲

報告事項 1

令和4年度事業報告について

令和4年度事業については、依然として続くコロナ禍の影響で実施が困難な工場見学等一部の事業を除き、感染防止に細心の注意を払いながら、会員の皆様の協力をはじめ、関係行政機関の適切な指導と支援及び環境関係団体との連携・協力により、概ね当初計画どおり実施することができた。

【事業費関係】

I 講習会事業

1 研修講習会事業

(1) 定時総会特別講演会

日 時：令和4年5月25日（水）14:00～15:00

場 所：宇都宮市 ホテルニューイタヤ

演 題：「犯罪被害者等について知ってほしいこと」

講 師：公益社団法人全国被害者支援ネットワーク理事

和氣 みち子 様

参加者：23名

(2) 環境保全講習会

① 第1回環境保全講習会（栃木県、宇都宮市と共催）

日 時：令和4年7月4日（月）13:30～16:00

場 所：栃木県庁 研修館講堂

講習内容：ア 「化管法の見直しとPRTR届出の電子届出推進について」

講 師：経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質リスク評価室

課長補佐 石津 さおり 様

独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター

リスク管理課長 中川 知香 様

講習内容：イ 「カーボンニュートラル実現に向けた栃木県の取組について」

講 師：栃木県環境森林部気候変動対策課

課長補佐（総括） 高嶋 英機 様

受講者：49名

② 第2回環境保全講習会（栃木県後援）

日 時：令和4年10月26日（水）13:30～16:30
場 所：宇都宮市 栃木県自治会館 大会議室
講習内容：ア 環境法令基礎講座（大気・水質編）
 i 大気汚染防止法の解説（概要とポイント）について
 ii 水質汚濁防止法の解説（概要とポイント）について
 イ 脱炭素化の働き方（ワークスタイル）への転換
 ウ その他（行政情報の提供）
講 師：栃木県環境森林部 環境保全課職員
 栃木県地球温暖化防止活動推進センター職員
受 講 者：63名

③ 第3回環境保全講習会（栃木県後援）

日 時：令和5年3月1日（水）13:30～16:00
場 所：宇都宮市 栃木県自治会館 大会議室
講習内容：ア プラスチック資源循環を巡る栃木県の状況について
 イ 土壌汚染対策法の諸手続について
 ウ とちぎSDGs推進企業登録制度について
講 師：栃木県環境森林部 資源循環推進課職員
 環境保全課職員
 栃木県産業労働観光部 産業政策課職員
受 講 者：62名

(3) EMS内部環境監査員養成講習会

日 時：令和4年9月15日（木）～16日（金）9:30～17:00
場 所：宇都宮市 栃木県自治会館 大会議室
講 師：栃木県環境マネジメントシステム外部評価委員会委員
 小林 進一 様
受 講 者：36名

(4) 排出事業者における産業廃棄物の適正処理及び排出抑制に関する講習会
（当協会後援、栃木県・宇都宮市・（公財）栃木県環境保全公社 主催）

日 時：令和4年11月29日（火）14:00～16:30
場 所：宇都宮市 栃木県教育会館 大ホール
講習内容：第一部 対象者：産業廃棄物排出事業者
 内 容 「プラスチック資源循環法の概要について」
 講 師：環境省環境再生・資源循環局 総務課リサイクル推進室
 室長補佐 江藤 文香 様

第二部 対象者：産業廃棄物多量排出事業者

内 容：「ユニリーバのプラスチックへの取り組み：循環型社会に向けて」

講 師：ユニリーバ・ジャパン・サービス(株)

パッケージ開発 山本 さや香 様

受 講 者：299名

(5) 産業廃棄物処理業者における産業廃棄物適正処理講習会

(当協会後援、栃木県・宇都宮市・(公財)栃木県環境保全公社 主催)

日 時：令和5年1月31日(火) 14:00~16:00

場 所：宇都宮市文化会館 小ホール

講習内容：第一部 対象者：産業廃棄物処理業者

内 容：「産廃処理業者とSDGs/ESG経営」

講 師：日経ESG経営フォーラム

事務局長 齋藤 正一 様

受 講 者：112名

2 行政機関・関係団体等との連携

(1) 令和4年度行政懇談会(会員限定)

日 時：令和5年1月13日(金) 14:00~

場 所：宇都宮市 栃木県職員会館 ニューみくら 208会議室

講習内容：第1部 講演 「栃木県の環境の現状について」

講師 栃木県環境森林部環境保全課長

福士 宏樹 様

第2部 質問・要望事項についての回答
意見交換会

参加者：24名

(2) 栃木県公衆衛生大会

① 第62回栃木県公衆衛生大会

日 時：令和4年9月13日(火) 10:30~

場 所：宇都宮市 県庁昭和館正庁(関係者限定)

表彰区分：保健衛生事業功労者表彰

ア 知事表彰(公害防止部門)

・優良団体：富士通(株)那須工場

② 第60回栃木県公衆衛生学会(同日午後)

- (3) 令和4年度第1回栃木県プラスチック資源循環推進協議会
実施日：令和4年8月9日(火) 10:10~11:45
場所：オンラインによるWeb会議
内容：①県のプラスチックごみ削減対策事業について
②「プラスチック資源循環法」の概要について
③県内市におけるプラ法に対する取組状況について
④各関係団体等における取組状況について
・富士通(株)那須工場
・栃木県プラスチック工業振興会
・栃木県生活協同組合連合会
・(公社)栃木県産業資源循環協会
出席者：指出会長

- (4) 一般社団法人産業環境管理協会
公害防管理者等国家試験に関する情報の入手等

3 公害防止管理者等国家試験受験講習会（水質関係）

日時：令和4年7月20日（水）～22日（金）9:00～16:45
場所：宇都宮市 栃木県自治会館 301会議室
講師：栃木県環境森林部環境保全課職員
前宇都宮大学大学院工学研究科物質環境化学
専攻教授 柿井 一男 様
(一財) 栃木県環境技術協会
技術部部長 井上 晃夫 様

受講者：20名

試験日：令和4年10月2日（日）

II 機関誌発行等事業

機関誌「クリーンライフ」発行

115号（ホームページ掲載・CD-ROM 90部）発行：令和4年6月

116号（ホームページ掲載・CD-ROM 90部）発行：令和4年10月

117号（ホームページ掲載・CD-ROM 90部）発行：令和5年2月

III 環境情報提供事業

県環境森林部各課等から広報依頼のあった行政ニュースをホームページ掲載、会員宛てメール送信、郵送等により速やかに周知及び普及を図った。

- ・栃木県気候変動適応センター通信

- ・脱炭素社会づくり促進事業費補助金について
- ・水質汚濁防止法の一部を改正する政令の施行について

等々

IV 環境保全・公害防止相談事業

会員からの気候変動対策、公害防止、環境保全及び廃棄物対策関係の質問等に随時対応した。

V 動画配信事業

- ・令和4年度第2回環境保全講習会
- ・令和4年度第3回環境保全講習会

【管理費関係】

I 会議

1 令和4(2022)年度定時総会

日 時：令和4年5月25日(水) 15:20～16:20
場 所：宇都宮市 ホテルニューイタヤ
出席者：125名(委任状提出者を含む)
議 事：

(1) 審議事項

- 第1号議案 令和3年度決算について
- 第2号議案 令和4年度事業計画(案)について
- 第3号議案 令和4年度収支予算(案)について
- 第4号議案 役員の改選について
- 第5号議案 顧問の推挙について

(2) 報告事項

報告事項1 令和3年度事業報告について
議案はすべて原案のとおり承認された。

2 理事会

(1) 第113回理事会(令和4年4月15日(金)書面決議)

ア 議案

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度決算について
- ・令和4年度事業計画(案)について
- ・令和4年度収支予算(案)について
- ・役員の改選について
- ・顧問の推挙及び参与の推薦について

- ・定時総会の開催について
議案はすべて原案のとおり承認された。

(2) 第 114 回理事会（令和 4 年 5 月 25 日（水）臨時）

ア 議案

- ・会長の選定について
会長に指出理事が新たに選定された。

(3) 第 115 回理事会（令和 5 年 3 月 開催予定）

ア 議案

- ・令和 5 年度事業計画（案）について
- ・令和 5 年度収支予算（案）について
- ・役員を選任について

イ 報告事項

- ・令和 4 年度事業報告（見込み）について
- ・令和 4 年度決算（見込み）について
- ・会長及び常務理事の職務執行状況について
- ・顧問の推挙及び参与の推薦について
- ・定時総会の開催について

3 企画委員会（令和 5 年 1 月 13 日（金））

議 事：ア 令和 4 度事業報告（見込み）について
イ 令和 5 度事業計画（案）について
ウ その他

4 協会功労者等表彰

日 時：令和 4 年 5 月 25 日（水） 定時総会冒頭
場 所：宇都宮市 ホテルニューイタヤ
受 賞 者：協会功労者 1 名
・協会監事 今井 清人 様

II 法令に基づく届出等の事務

1 監査

令和 4 年 4 月 6 日（水）、監事による令和 3 年度の会計監査が行われた。

2 法務局登記

令和 4 年度定時総会及び第 114 回理事会において議決された役員を選定

等について、令和4年6月15日付で登記を完了した。

Ⅲ 会員の拡大

- 1 県の各環境森林事務所等へ会員募集案内パンフを配布及び勧誘依頼するとともに、環境保全講習会等において同上パンフを配布し加入を呼びかけた。
- 2 県内新規立地事業者等に対し、適宜個別の勧誘を行った。